

令和3年司法試験合格体験記

平成30年度修了（未修コース）森田 偉弘

私の三回の司法試験挑戦の中での失敗を少しだけお話させていただきますので、参考にいただければと思います。

まず、私は他人とゼミを組むなどして共に学習することが非常に苦手でした。このため、同期の優秀な答案を参考にする機会を失ってしまいました。

結果、最後まで、簡便な言い回しができない、どのような事実をどう評価するか、という視点が育たないままでした。この点は今でも克服できていないように思います。

ただ、勉強のペースのとり方は人それぞれですので、ゼミを組むことが必須だとは思いません。すべての勉強方法に言えることですが、自分が何を得るためにするのかは、よく考えたほうが良いと思います。

次に、私は最後まで過去問検討をしなかったため、出題趣旨を読んで答案にメリハリをつけることができない、頻出論点を優先して学習するなど学習順位をつけられない、問題意識をどう持つべきかわからない等のため、基本書を満遍なく読み、まとめる以外に学習する術を失ってしまいました。そのため毎回、ほぼパンク寸前の状態で試験を受ける羽目に陥っていたと思いました。

また、短答については、もともと苦手意識もあったこともあり結局最後まで刑法は一切勉強しておらず、民法も親族相続法分野は手付かずという状態でした。このため、知っておくべき細かな判例を知らず、結論に常に迷うという状態になっていました。

さらに、私は二回目の司法試験不合格の結果を知った後、ふて腐れてしまい、勉強する気力をほとんど失ってしまいました。

そのため、今年合格してもほとんど合格した実感がわからず、また順位を知った後は、もっと上の順位になれたのに、と後悔ばかり募ってしまう始末です。

なので、僕のような失敗と後悔をしないためにも、ぜひ参考にしてください。

僕は、高校を中退した人間です。こんな人間でも継続すれば司法試験に受かることが出来るのですから、皆さんなら必ず合格することが出来ます。ですので、諦めず、腐らず頑張ってください。

皆さん笑顔で合格できることを、心より願っています。